

2022年2月10日

## 大塚製薬工場、自社の鳴門工場へ CO<sub>2</sub> 排出量削減および医薬品の安定供給に寄与する コージェネレーションシステム設備導入

大塚ホールディングス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:樋口達夫)の子会社である株式会社大塚製薬工場(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:小笠原信一)は、本社敷地内の鳴門工場に、CO<sub>2</sub>排出量削減および医薬品の安定供給に寄与するコージェネレーションシステム<sup>※1</sup>設備を導入しましたので、お知らせいたします。

鳴門工場のコージェネレーションシステム設備は、天然ガスを燃料として発電し、その際に生じる廃熱を蒸気や温水に利用する設備です。このたびの導入により、エネルギー利用効率の更なる向上が見込め、鳴門工場のCO<sub>2</sub>年間排出量の約5%に相当する<sup>※2</sup>約1,500トン削減することができます。また、昨年9月にボイラの燃料をA重油<sup>※3</sup>からLNG<sup>※4</sup>に転換しており、本設備の導入と併せて、鳴門工場のCO<sub>2</sub>年間排出量の約17%に相当する<sup>※2</sup>約4,800トン削減できる見込みです。



鳴門工場のコージェネレーションシステム

大塚グループでは、環境への取り組みにおけるマテリアリティ(重要項目)を「気候変動」「資源共生」「水資源」と特定しています。「気候変動」においては、「2030年にCO<sub>2</sub>排出量50%削減<sup>※5</sup>」を目標に掲げ、効率的なエネルギー利用や、環境負荷の少ない燃料への転換等の取り組みを、グループ一体となって積極的に推進しています。

本設備は、地震等の耐災害性にも優れており、停電時には自家発電により、医薬品の生産継続が可能となるBCP<sup>※6</sup>対応の設備です。日本の輸液のリーディングカンパニーとして、今後ともより一層、製品の安定供給に努めてまいります。

大塚グループは、“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”の企業理念のもと、世界の人々の健康への貢献に向けて取り組んでいます。今後も、各社の協働のもと、脱炭素社会、ひいてはサステナブルな社会の実現への貢献も目指しています。

※1 天然ガス、LPガス等を燃料として、エンジン、タービン、燃料電池等の方式により発電し、その際に生じる排熱も同時に回収することで、熱と電気を無駄なく利用するシステム。

※2 当社2017年比。

※3 主として燃料に用いられる重質の石油製品のひとつ。

※4 液化天然ガス(Liquefied Natural Gas) メタンを主成分とした天然ガスを冷却し液化した無色透明の液体。

※5 当社グループ2017年比。国内および国外のCO<sub>2</sub>排出量が対象。

※6 BCP(Business Continuity Plan):事業継続計画

## 会社概要

### 株式会社大塚製薬工場 (Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.)

設 立 : 1969年10月7日(創立 1921年9月1日)  
資 本 金 : 8,000万円  
代 表 者 : 代表取締役社長 小笠原 信一 (おがさわら しんいち)  
本社所在地 : 〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115  
従 業 員 数 : 2,266名 (2021年12月31日現在)  
事 業 内 容 : 臨床栄養製品を中心とした医薬品、医療機器、機能性食品等の製造・販売  
および輸出入  
U R L : <https://www.otsukakj.jp/>

### 大塚ホールディングス株式会社 (Otsuka Holdings Co., Ltd.)

設 立 : 2008年7月8日  
資 本 金 : 816億90百万円  
代 表 者 : 代表取締役社長 兼 CEO 樋口 達夫(ひぐち たつお)  
本社所在地 : 〒101-0048 東京都千代田区神田司町2丁目9番地  
従 業 員 数 : 137名 (2021年12月31日現在)  
事 業 内 容 : 持株会社